

## P11 当院における2003－2008年の初診患者の実態調査

A field Survey on the First visits of Patients at a Pediatric Dental Clinic in 2003-2008

○石田万喜子<sup>1)</sup>、藤村理衣<sup>2)</sup>、宮崎修一<sup>3)</sup>、住吉彩子<sup>1)</sup>、秋本光子<sup>4)</sup>、木山純子<sup>5)</sup>  
Makiko Ishida<sup>1)</sup> ,Rie Fujimura<sup>2)</sup> ,Shuichi Miyazaki<sup>3)</sup> ,Ayako Sumiyoshi<sup>1)</sup> ,Mitsuko Akimoto<sup>4)</sup>  
Junko Kiyama<sup>5)</sup>

いしだまきこ小児歯科<sup>1)</sup>、ふじむら歯科りえ小児歯科<sup>2)</sup>、みやざき歯科クリニック<sup>3)</sup>、  
秋本歯科医院<sup>4)</sup>、ふるげん歯科クリニック<sup>5)</sup>  
Ishida Makiko Pediatric Dental Clinic<sup>1)</sup> ,Fujimura Dental Clinic and Rie Pediatric Dental Clinic<sup>2)</sup> ,  
Miyazaki Dental Clinic<sup>3)</sup> ,Akimoto Dental Clinic<sup>4)</sup> ,Furugen Dental Clinic<sup>5)</sup>

当院は福岡県南部に位置する。市行政による乳幼児に対する特徴的な対応として、月に1回、1歳児を対象とした歯の健康教室が市役所で実施されている。また、1歳6か月児、3歳児歯科健診は、歯科医師会に委託されており、患者が歯科医師会会員の歯科医院を選び個別に受診している。市郊外の一部地域においては、保健所での集団健診を受けるか個別の健診を選択できる環境にある。このため、低年齢で歯科医院を受診する確率が高いと言える。子どもに歯が生え始め、保護者が歯に対する関心を持ち始めた1歳の時点で健診を受け、半年後の1歳6か月になって、健診と個別の指導を受けられる機会をもつことで、定期的な指導や健診の必要性を保護者に認識してもらいやすい環境にある。

今回、開院後過去5年間来院した、5,057名の初診患者の実態を調査することにより、低年齢層を含めた患者の受診目的の傾向、経年的推移などを把握することができた。

中でも、主訴の内訳では、0～2歳では、「検診希望」と「フッ素塗布の希望」が多数を占めた。他の年齢層では、「むし歯がある」、「検診希望」が全体の50%以上を占めており、その他の主訴においては顕著な差はみられなかった。月別の初診患者数では、長期休暇の月がどの年においてもやはり多かった。

これらのことなどから地域性を十分考慮し、患者・保護者に対応することが、時代に即した初診時のアプローチの構築につながるということがわかった。